

2022年度事業計画書

1. 重点方針

(1) 公益社団法人としての全日本能率連盟の存在目的を再認識し、
「やる気（資格取得のモチベーション向上）」＝全能連及び認定資格などの
認知度向上
「やる力（資格取得者などへの知識・技術の提供）」＝交流会・研究会などの
企画開催を行う。

(2) (1)に加え、
「やる場（優秀な産業人材が活躍できる場、クライアントやプロジェクト獲得）」の
提供につき、検討を開始する。本件の事業設計においては、「公益性」を重視し、
かつ各会員団体の活動を妨げないことを基本とし、かつ必要に応じて定款の変更を
も視野に入れた検討を行う。

以上

2. 事業別計画

公1 経営・マネジメント支援等事業

(1) 全能連マネジメント・アワード事業

年度開始以前より長期化した新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく2021年度中の開催を見送ったが、2022年度は通常開催する。8月末を応募締切とし、10月中に1次審査、翌年1-2月に2次審査を行う形で開催する。

(2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

【資格称号認証事業】

- ・既認証資格に対してはこれまで通り実施状況の調査等を通じて適切な認証状況の維持に努める他、変更・廃止・新規認証などの依頼に対しては迅速な対応を心掛け、「全能連認証」の活用を促進する。
- ・近年のオンライン化動向に伴う認証資格の変更申請に対しては、審査の有無について柔軟に対応し、申請団体の負担軽減を図る他、新規の申請に関しても速やかに審査することに努める。

【MC/MI認定】

- ・コロナ禍における新たな試みとして、2021年度中に6回開催した「全能連オンラインセミナー」の経験と反省点などを踏まえ、2022年度にも継続実施する方向で検討する。
- ・認定MC、MIにとって、最新業界動向のリサーチや自己研鑽となる有益な会員の事業情報を提供する。
- ・2021年度申請者の認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMCは全能連ホームページ上で広報する。

(3) マネジメント関係調査研究事業

【海外との情報交流】

- ・国際組織ICMCIの各種事業（総会、アワード、コンファレンス、ISOなど）の紹介及び参加をMC、MMC、EMIなどの国際資格保持者に対して呼びかけ、コンサルタント同志の国際交流をはかるとともに、我が国関係者に役立つ情報提供を行う。

【研究会】

- ・認定MC/MIの相互交流目的のみならず、「日本的コンサルティングスタイルの利点や強み」など、日本におけるマネジメント団体の連合体として、俯瞰的な視点で業界全体を議論する場を設け、研究会活動として実行することを検討する。

収他1 顕彰者表彰事業

前年度とほぼ同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施する。今後、いまだ利用の無い会員に対し利用を働き掛けるとともに、利用していただいた会員にさらに満足いただける演出・サービスの充実に努める。

以上